# 平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名称 | 建築指導事務 | | | | | | | | 継続 |
| コード | 24 | － | 63 | － | 02 | － | 00 | 予算事業名 | 建築確認 |
| 担当部署 | 都市計画部 | | 建築指導課 | | 建築審査担当 | | | 予算事業コード | 会計 10 款 08 項 01 目 02 |

## 1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合

法令による実施義務　一部義務

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 基本目標(章) | 3章 | 人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち | 実施計画事業名 | 無し |
| 方向性(節) | 1節 | 都市の魅力の創出 | 個別計画等の名称 | 無し |
| 施策 | | | | |
| 細施策 | | | 当事業に関連する事務事業 | 無し |
| 事業実施の根拠となる法令・条例等 | 建築基準法その他関係法令、エネルギーの使用の合理化に関する法律等 | | | |

## 2. 事業の目的と概要

| | |
|---|---|
| 事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか） | 市内に建築しようとする、又は、既にある建築物に対して、建築基準法その他関係法令に適合しているか否かを審査及び指導する。また昭和56年以前に建築された建築物に対して、耐震診断費及び改修費の補助を行い、快適で安心、安全な住環境の確保及び良好なまちづくりを目指す。 |
| 事業の概要（活動内容、実施手段・方法など） | 建築確認申請等の審査・検査を行う。また、指定確認検査機関からの報告及び各種届出を受理し、審査する。既存建築物については、違反建築物の是正指導及び定期報告の審査を行う。また、申請に基づき耐震診断費・改修費の交付を行う。その他、建築物に関する法令に基づく届出受理・審査を行う。 |

## 3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

| | | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 予算額 | | 33,154 | 18,977 | 27,660 | 26,528 | 14,433 | |
| （25年度予算額大幅増／減の理由） | | | | | | | |
| 事業費 | A | 24,578 | 7,780 | 15,066 | 26,528 | 14,433 | 35,507 |
| 人件費 | B | 54,612 | 43,459 | 47,715 | 42,579 | 46,101 | 46,101 |
| 総コスト（C＝A＋B） | | 79,190 | 51,239 | 62,781 | 69,107 | 60,534 | 81,608 |
| 正規職員（1年間の従事人数） | | 7.29人 | 5.77人 | 6.35人 | 5.65人 | 6.13人 | 6.13人 |
| 臨時職員（1年間の従事人数） | | 1.00人 | 1.00人 | 1.00人 | 1.00人 | 1.00人 | 1.00人 |
| 国県支出金 | D | 15,353 | 887 | 8,253 | 4,441 | 2,395 | 13,295 |
| その他特定財源 | E | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,052 | 4,165 |
| 市の財政負担（＝C－D－E） | | 63,837 | 50,352 | 54,528 | 64,666 | 54,087 | 64,148 |

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

## 4. 成果指標・活動指標による分析

| 評価指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度目標値 | 将来目標値 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 成果 | 完了検査率 | % | 89.5 | 96.3 | 96.9 | 99.3 | 100.0 | 26年度 | 100.0 |
| | 指標の定義・説明 | | 完了検査申請件数÷（確認済証交付件数－工事取止件数－未着工件数－工事中件数） | | | | | | |
| 成果 | 定期報告率 | % | 87.1 | 90.9 | 90.9 | 89.4 | 93.0 | 26年度 | 95.0 |
| | 指標の定義・説明 | | 定期報告の対象となる特殊建築物、建築設備、昇降機等の報告率の平均 | | | | | | |
| 成果 | 耐震診断補助件数 | 件 | 7 | 1 | 5 | 12 | 20 | 26年度 | 20 |
| | 指標の定義・説明 | | 耐震診断補助金の実績件数 | | | | | | |
| 成果 | 耐震改修補助件数 | 件 | 3 | 5 | 5 | 6 | 10 | 26年度 | 10 |
| | 指標の定義・説明 | | 耐震改修補助金の実績件数 | | | | | | |
| 指標に基づく評価 | | | 申請等により行うものが多いため実績値での評価となる。完了検査や定期報告は法令上定められた手続きなので、率の上昇に向けた努力が必要である。補助件数についてはニーズとの調整が必要と思われる。 | | | | | | |

## 5. 事業の実施を通じた分析

| (1) 現在の課題と状況 | 効率性に課題 | 有効性に課題 | | |
|---|---|---|---|---|

検査・報告率については従前からのハガキや電話による催促を継続して進める。建物所有者等の順法意識に帰する部分もあり、啓発活動の検討が必要である。耐震補助事業については、さらなる周知・啓発に努めるほか、新たな制度拡充の検討も必要と思われる。

### (2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

完了検査率、定期報告率については、埼玉県建築行政マネジメント計画において、県内共通の目標として推進に取り組んでいる。
耐震事業については全国的に助成制度が運用されている。

### (3) 事業を廃止・縮小したときの影響

検査・報告は法令上定められた手続きなので廃止はできない。耐震事業の廃止は災害に強い安全・安心なまちづくりの推進を鈍化させる恐れがある。

# 平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

| 所管部署 | | | 都市計画部 | | | | 建築指導課 | 建築指導担当 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務事業名称 | | | 24 | 63 | 02 | 00 | 建築指導事務 | |
| 今後3年間の方向性 | 25年度 | 改善（見直し） | 耐震診断・改修の実施数向上のため、補助拡充のほか相談・説明会の実施といった啓発活動の拡大も検討する。 | | | | | |
| | 26年度 | 継　続 | | | | | | |
| | 27年度 | 継　続 | | | | | | |